

款 9 消防費

項 1 消防費

目 1 常備消防費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,191,745,795 円	6,600,000 円	18,324,751 円	円	20,213,702 円	3,146,607,342 円

2 一般管理事業

予算現額	357,498,000 円
事業決算額	337,858,225 円
予算執行率	94.5 %

消防事務、職員の研修、被服の貸与及び庁舎の維持管理等を行うとともに、消防防災指導センターを運営し、市民の消防及び防災に関する知識の普及・啓発、訓練等に対する指導に努めた。

(1) 一般管理事業

《 事業概要 》

消防事務、職員の研修、被服の貸与及び庁舎の維持管理等を行った。

《 事業評価 》

研修事業については、消防大学校及び県消防学校での専門的知識及び技術の習得を目的に49人の職員を派遣し、国・県等の他機関にも6人の長期派遣を行った。

また、内部研修については、予防研修や昇任者研修などを計画的に実施するとともに、自らの意思で実践的な研修を受講するフレキシブル研修を試行的に導入し、人材育成を図ることができた。

被服の貸与については、夏用活動服を貸与し、夏季における職員の安全性の確保に努めることができた。

(2) 消防防災指導センター設置運営事業

《 事業概要 》

市民の消防及び防災に関する知識、技術の習得と消防及び防災意識の向上を図るため、市民、事業所等が実施する訓練等に対する指導を行った。

訓練指導実施回数	462回
訓練指導対象人数	32,347人

《 事業評価 》

平成20年度の年間の訓練指導実施回数227回（月平均約19回）に対し、平成21年度は462回（月平均約38回）訓練指導を実施することができた。また、訓練内容別では、消火訓練（全体の約19%）とともに、AED訓練（全体の約16%）が多く、市民の救急救命に対する意識の高まりに応えることができた。

担当 消防総務課

3 救急救助事業

予算現額	34,415,000 円
事業決算額	33,309,416 円
予算執行率	96.8 %

《 事業概要 》

救急、救助活動を行うとともに、救急救命士の養成に関する事務や隊員の資質向上のための救急事後検証会や研修会等を開催するとともに、資機材の購入及び維持管理を行った。

区分	平成21年	平成20年	前年比増減
救急出動件数 (件)	11,572	11,289	283
救助出動件数 (件)	157	139	18

《事業評価》

救急活動については、年間の研修計画に基づき実施し処置の的確性を向上することができた。今後もさらに研修内容等を検討し、救急隊員のレベルの向上を図っていく。

救助活動については、消防が災害を知ったときから救助完了までの時間短縮を成果指標とし、各種訓練を実施し技術の向上を図ることができた。今後も計画的に訓練を実施し、さらに技術の向上を図り、消防が災害を知ったときから救助完了までの時間短縮を図っていく。また、化学防護服、潜水具を購入し、資機材の充実を図ることができた。

担当 消防課

4 火災活動事業

予算現額	13,908,000 円
事業決算額	13,437,505 円
予算執行率	96.6 %

《事業概要》

火災に対する活動を行うとともに、資機材の購入、維持管理及び県防災ヘリコプター運営協議会への負担を行った。

区分	平成21年	平成20年	前年比増減
火災出動件数（件）	109	126	△ 17
損害額（千円）	142,386	224,869	△ 82,483

《事業評価》

計画的に消防ホース、空気呼吸器等の資機材を購入し、消防装備の充実強化を図ることができた。今後も住民サービスの向上のため計画的に消防資機材の整備と更新を図り、消防装備のさらなる充実強化を進めていく。

担当 消防課

5 緊急雇用創出基金事業

予算現額	15,852,000 円
事業決算額	12,624,751 円
予算執行率	79.6 %

住宅用火災警報器の設置状況調査及び設置についての啓発を実施するとともに、市有地以外に設置された防火水槽について、公的管理すべき防火水槽の総数を明らかにするため、所有者等の調査を行った。

なお、執行率が79.6%となった主な要因は、調査、啓発に使用する車両の燃料費の実績による。

(1) 住宅用火災警報器普及啓発事業

《事業概要》

住宅火災による死傷者の発生を防ぎ、市民の安全・安心を確保するため、市内の住宅を訪問し、住宅用火災警報器の設置状況調査を行うとともに、住宅用火災警報器の設置について啓発した。

《事業評価》

新規に8人の雇用を行うことにより、市内の953自治会（101,203世帯）で住宅用火災警報器の普及啓発リーフレットの回覧及び回覧方式によるアンケートでの設置状況調査を実施し、設置率を把握することができた。調査の結果、63,606世帯（回答率62.9%）から回答を得ることができ、その設置率は54.8%であった。

担当 予防課

(2) 消防水利関係用地整理事業
《事業概要》

消防水利のうち、市有地以外に設置された防火水槽について、公的管理すべき防火水槽の総数を明らかにするため、所有者や登記の実態、防火水槽設置時の経過等を調査した。

《事業評価》

新規に8人の雇用を行うことにより、市内10地区のうち7地区738基の防火水槽を調査した結果、634基の調査が完了した。

担当 消防課

款 9 消防費 項 1 消防費 目 2 非常備消防費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
289, 305, 580 円	2, 700, 000 円	円	円	44, 955, 935 円	241, 649, 645 円

1 団運営事業

予算現額 327, 100, 000 円
事業決算額 289, 305, 580 円
予算執行率 88.4 %

消防団の運営及び消防団施設の維持管理を行い、火災活動等における地域の災害対応体制の向上に努めた。

(1) 団運営事業
《事業概要》

消防団員の報酬、費用弁償、被服費、資機材の整備等の運営を行った。

区分	対象人数(人)	報酬(円)
消防団員	2, 082	63, 756, 075

《事業評価》

消防団の運営費として適正な処遇を保持し、消防ホース等の購入による資機材の充実を図り、地域の消防力の向上に努めることができた。

(2) 団施設運営事業
《事業概要》

消防団活動に必要な詰所及び車輌の維持管理を行った。

《事業評価》

消防団関係施設の維持管理を適切に行い、地域の防災活動に寄与することができた。

担当 消防総務課

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
480,499,594 円	170,352,000 円	1,622,000 円	113,200,000 円	30,446,880 円	164,878,714 円

1 消防施設維持管理事業

予算現額 328,591,000 円
 事業決算額 257,239,273 円
 予算執行率 78.3 %

《事業概要》

防災拠点としての機能と迅速な初動体制を確保するため、消防施設の移転、改修、維持管理及び消防車輌の維持管理を行った。

なお、執行率が78.3%となった主な要因は、消防施設改修事業（事業費：44,077,000円）を平成22年度へ繰越したことによる。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
北消防署河芸分署移転に伴う河芸庁舎改修工事	河芸町浜田	事務所、仮眠室、車庫等の改修	74,641,350
(仮称)美里・榎原分署新築工事に伴う敷地造成工事	美里町足坂及び五百野	分署を新築するための敷地造成	25,687,391
中消防署電気設備改修工事	寿町	変電設備等の改修	13,927,200
北消防署天井改修工事	栗真中山町	玄関ホールのアスベスト除去	1,888,950

《事業評価》

計画的に消防施設の移転、改修及び消防車輌の維持管理等を推進したことは、消防力の充実強化につながり、住民サービスの向上を図ることができた。

河芸分署の移転については、計画どおり平成22年3月26日に業務を開始することができた。

美里分遣所と榎原分遣所の統合については、平成23年4月からの業務開始に向け、敷地造成工事及び分署建築工事に伴う設計業務委託を推進した。

担当 消防総務課

2 消防団施設維持管理事業

予算現額 16,507,000 円
 事業決算額 14,264,972 円
 予算執行率 86.4 %

《事業概要》

防災拠点としての機能と迅速な初動体制を確保するため、消防団施設及び消防団車輌の維持管理を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
久居消防団第4分団詰所ほか3施設公共下水道接続工事	久居北口町	公共下水道の接続	884,324
高野水防倉庫解体工事	一志町高野	水防倉庫の解体	735,000

《事業評価》

消防団施設の改修、解体、維持管理及び消防団車輌の維持管理を行い、地域の消防力及び初動体制の確保を図ることができた。なお、消防団施設の整備については、地域の理解を得て慎重に取り組んでいく必要がある。また、老朽化の進む消防団車輌については、適切な維持管理に努めるとともに、計画的に更新を進めていく。

担当 消防総務課

3 消防車輌購入事業

予算現額	135,823,000 円
事業決算額	134,643,146 円
予算執行率	99.1 %

《 事業概要 》

消防力の向上、火災・救急活動の充実・強化を図るため、消防車輌の購入・配備を行った。

区分	配備場所	数量	金額（円）
水槽付消防ポンプ自動車 (消火泡圧縮吐出装置付) の購入	中消防署	1台	37,117,500
高規格救急自動車の購入	中消防署、白山消防署	2台	31,479,000
救急資機材等の購入	中消防署、白山消防署	2組	26,748,918
水槽付消防ポンプ自動車の 購入	美里分遣所	1台	22,449,000
指揮広報自動車の購入	北消防署、美里分遣所	2台	7,724,062
資機材搬送車の購入	中消防署	1台	7,644,000

《 事業評価 》

消防車輌7台の更新を推進したことは、消防力の充実強化につながり、住民サービスの向上を図ることができた。なお、耐用年数を経過した車輌については、計画的に更新を進めていく。

担当 消防総務課

4 消防水利整備事業

予算現額	43,563,000 円
事業決算額	43,330,892 円
予算執行率	99.5 %

《 事業概要 》

消防水利の設置及び維持管理事業において、耐震性防火水槽及び消火栓を新設するとともに、既設水利の修理を行った。

区分	箇所数	内容	金額（円）
消防水利の設置	5	消火栓の新設	4,938,706

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
三泗公園耐震性防火水槽 (60m ³ 級)設置工事	野田	耐震性防火水槽 (60m ³ 級) の新設	11,482,059
ヒルズガーデン西公園耐震性防火水槽(60m ³ 級)設置工事	戸木町	耐震性防火水槽 (60m ³ 級) の新設	9,717,132
小山台地公園耐震性防火水槽(60m ³ 級)設置工事	一志町小山	耐震性防火水槽 (60m ³ 級) の新設	7,327,920

《 事業評価 》

消火栓5箇所及び耐震性防火水槽3基を新設し、消防水利の充実強化を図ることができた。なお、消防水利が不足する地域に対しては、今後も引き続き消防水利の整備を推進していく。

担当 消防課

5 消防団車輌購入事業	予算現額 31,223,000 円 事業決算額 31,021,311 円 予算執行率 99.4 %
-------------	---

《事業概要》

地域の消防力の向上、火災活動の充実・強化を図るため、消防団車輌の購入・配備を行った。

区分	配備場所	数量	金額(円)
小型動力ポンプ付積載車の購入	安濃消防団第2分団・第3分団、香良洲消防団第4分団	3台	18,742,500
小型動力ポンプ付積載車(軽自動車)の購入	芸濃消防団第2分団、一志消防団第1分団・第2分団	3台	12,001,500

《事業評価》

消防団車輌6台の更新を推進したことは、地域の消防力の充実強化につながり、住民サービスの向上を図ることができた。なお、耐用年数を経過した車輌については、計画的に更新を進めていく。

担当 消防総務課

款 9 消防費 項 1 消防費 目 4 水防費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
900,375 円	円	円	円	円	900,375 円

1 水防訓練事業	予算現額 916,000 円 事業決算額 900,375 円 予算執行率 98.3 %
----------	---

《事業概要》

水害時の防災対応力を強化し、水害に強いまちづくりを進めるため、水防訓練を開催した。

区分	実施日	実施場所	内容	参加人数(人)
水防訓練	5月31日	雲出川緑地	積土のう工法等	700

《事業評価》

水防訓練を開催したことにより関係機関の連携と参加住民の防災意識の高揚を図ることができた。

なお、平成21年度は、一會場へ関係者が集合して訓練を行ったが、広大で変化に富む水系・地形を有する管内の特性に応じた水防機能を確立するためには、各地域の実情を踏まえた訓練を実践することが必要であり、平成22年度は、10消防方面団毎により実効性ある訓練を実施していく。

担当 消防課